

第1回検討会や行政事業レビューを踏まえた
今後の支援の方向を検討する上での論点について

第1回検討会や行政事業レビューを踏まえた 今後の支援の方向を検討する上での論点について

- 1 行政事業レビューでの「ゼロベースでの見直し」が指摘される中で、真に多面的機能の発揮に必要なメニューについて支援していくという観点から、活動の公益性があり、支援する緊急性が高い、以下の二つのメニューに絞り支援を実施することについてどう考えるか。
 - ①藻場・干潟の保全などの「環境・生態系保全」
 - ②海難救助などの「海の安全確保」
- 2 ただし、漁村人口の減少・高齢化が一層進行している状況に鑑み、幅広い人材を漁村に取り込みつつ地域コミュニティ機能を維持・発揮させることが、多面的機能の増進を図る上で重要であることから、地域コミュニティの強化にも資する効果的な教育・文化に対する取組を、上記1の活動とあわせて実施する場合に支援を行うことについてどう考えるか。
- 3 水産業の振興を図る産業政策と、多面的機能発揮を推進する地域施策を車の両輪として、ともに展開していくことが重要であることを踏まえつつ、支援を行うことについてどう考えるか。

第1回検討会や行政事業レビューを踏まえた 今後の支援の方向を検討する上での論点について

4 国としての責務、地方への裨益の度合い、事業の継続性などを勘案し、地方の負担の程度を検討することについてどう考えるか。

5 成果目標については、長期的な視点に立ち、事業に直結した、以下の成果指標及び目標値とすることについてどう考えるか。

① 「海の安全確保」:不審船、環境異変の通報件数(〇%の増加)及び救助率〇%(救助された隻数の割合)

② 「環境・生態系保全」:対象水域における生物の増加量(〇%の増加)

なお、毎年度事業の進捗状況について、評価を実施することについてどう考えるか。

6 評価方法については、第三者等の視点を加えたチェック体制を検討することについてどう考えるか。